

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2020 No.531
3 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



2019年度 災害支援認定 診療放射線技師講習会 開催される



2020年1月25日(土)・26日(日)の2日間、本会事務所講義室で2019年度災害支援認定診療放射線技師講習会が開催された。

本会は、原子力等放射線災害および自然災害において、被災地での医療救援活動の役割を担う診療放射線技師を災害支援診療放射線技師としてその活動を推進し、特に災害支援診療放射線技師のリーダーとしての役割を担う診療放射線技師を「災害支援認定診療放射線技師」(以下、災害支援認定技師)として認定している。認定申請のためには本講習会の受講および確認試験に合格することが要件となる。

講習会は30人の定員制で、座学と放射線サーベイ、下肢静脈超音波検査の実技で構成されている。放射線サーベイは、各自タイベックススーツやブーツカバー・手袋・マスクなどを実際に身につけていただき、タイベックススーツを着用したままサーベイを行う実践的な実技となっている。また下肢静脈超音波検査実技では、避難住民の下肢静脈血栓症の好発部位である膝窩静脈・腓腹静脈・ヒラメ静脈を中心に超音波解剖と走査実技を行う。今回受講された会員はほとんどが超



音波検査未経験者であったが、基本的な下肢静脈の超音波解剖と走査手技を理解していただけたのではないかと思います。放射線サーベイと下肢静脈超音波検査については、今後、受講された方々が機会を見つけて継続的に復習を行っていただけることを願う。

災害支援認定技師の認定制度は始まったばかりであるが、行政や医師会、関連団体への広報活動、機器メーカーとの協力関係、本会と地区技師会の連携、災害支援マニュアルの作成など、災害支援認定技師がスムーズに活動できるために今後解決しなければならない課題がある。災害大国といわれる日本では、大規模災害がいつ発生してもおかしくはない状況なので、できるだけ早く諸問題を解決したいと考えている。今後とも、会員のご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

最後に、本講習会開催に当たり講師を務めていただきました会員の皆さま、超音波装置を提供いただきました(株)日立製作所、GEヘルスケア・ジャパン(株)、富士フィルムメディカル(株)のスタッフの皆さま、日本診療放射線技師会事務局スタッフの皆さまに感謝を申し上げます。

(理事 (災害対策委員会) 江藤芳浩)



2019年度 マネジメント研修会 開催される

2020年1月25日(土)・26日(日)の2日間、本会主催のマネジメント研修会がホテルクラシア大阪ベイ(旧大阪ホテルコスモスクエア)で開催された。

本研修会は、マネジャーおよびマネジャーを目指す会員が全国から参加し、合宿形式で行う研修会である。

本研修会の目的は、医療経営の効率化に参画できる診療放射線技師の養成、そしてさまざまな環境下で人材育成の課題・問題点などについて、指導的役割を担う診療放射線技師の育成を目指すとともに、同じ目的を持った受講者同志のネットワークづくりの場を提供することである。

本年度も昨年同様に、ミドルマネジャーを対象とした日帰りコースとトップマネジャー対象の宿泊コースを設けた。なお、今回の参加者は37人(宿泊コース27人・日帰りコース10人)であった。本研修会は開催より9年が経過しており、マネジメントに興味のある各都道府県の医療施設から幾度も参加していただいているリピーターも多い。今回は初参加の会員が多かったが、その中でも女性の参加者が多く見られた。今後、女性管理職が活躍していく上で、運営や人材育成などのマネジメントに関するさまざまな問題提示の場として、そして協議・討論の場としても本研修会を活用していただきたい。



初日は、業務管理や人材育成、診療放射線技師の今後の課題や方向性に関する内容が中心となった。基調講演では、中澤会長より「将来の診療放射線技師像を求めて」と題して、現在と今後の課題である診療放射線技師法の抜本的改正やタスク・シフト/シェアの推進など、詳細にご講演いただいた。教育講演①では、長崎原爆諫早病院 松尾俊哉氏より「これからの診療放射線技師に求められる組織スキル」と題して、中間管理職から見た視点からご自身の経験を基に分かりやすくご説明いただいた。特別講演①では、神戸大学医学部附属病院 放射線部技師長 日下亜起子氏より「医療環境の変化に伴う現状と今後の課題」と題して、キャリアアップと組織への取り組みなどについて詳細にご説明いただいた。またワークショップでは、奈良県放射線技師会 副会長 松岡孝明氏を中心に「令和時代における管理職の役割」と題して、働き方改革をテーマに参加者がグループに分かれて、各医療施設における現状や問題・



課題について議論が交わされた。そして夕食後には、恒例となっているナイトセミナーが行われた。ワークショップで議論されたさまざまな課題を基に、中澤会長をはじめ講師の先生方にもアドバイザーとして参加いただき、活発な議論が繰り広げられた。昨年度に続き、人材育成に関しては意見が飛び交い、現管理職と若手参加者による熱い議論が繰り広げられ、気が付けば例年通り延長となり翌日を迎えていた。



ワークショップ



ナイトセミナー

2日目は、特別講演②として聖隷福祉事業団法人本部 日下部行宏氏より「病院経営支援を通して見えてきた病院経営改善への焦点」と題して、病院を取り巻く環境から病院経営のポイントまで、自施設での経験を含めて詳細にご説明いただいた。教育講演②では、日本画像医療システム工業会(JIRA) 鍵谷昭典氏より「令和2年度の診療報酬改定の方向性」と題して、最新の情報を基に診療報酬の変化・課題について詳細にご説明いただいた。その後、研修の総まとめである総合討論では、講師の先生方を交えての意見交換がなされ、盛会のうちに本年度のマネジメント研修会は幕を閉じた。



最後に、講師の皆さま、参加された会員の皆さま、そして関係者の皆さまに感謝致します。

(人材育成委員会マネジメント研修班 委員長 佐野幹夫)

閉講式の様子



閉講式の様子

放射線機器管理地域研修会（山形県）開催される

2019年12月21日（土）、東北中央病院講堂で「放射線機器管理地域研修会（山形県）」を開催し、38人の方に受講いただいた。

今回の講習会では、「医療機器における諸法令について」として、関係法令や機器管理の重要性ならびに認定更新における書類等の注意点などを解説し、一般撮影・CT・造影剤自動注入装置・MRのモダリティーごとに機器管理の方法と実践、そして課題についての講義が行われた。講義後の質問も多く活発な議論がなされ、参加者の意識の高さがうかがえた研修会であった。

医療法施行規則の一部改正により、2020年4月から診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が施行され、放射線検査における線量管理の厳格化が行われる中で、ますます診



療放射線技師が中心となり、医療機器の保守・安全管理を実践することが重要になると思われる。また多くの医療機器に関わる医療事故が発生しているが、その際には、必ず保守点検や日常点検の実施状況、および安全使用のための研修会が実施されていたかが問題となり、そのためにも本研修会が、放射線関連機器の安全管理を実践し、安全・安心な医療の提供につなげていくための動機付けの一助になればと願っている。

2020年度も地域研修会は継続して開催される。講演を行うモダリティーについては、開催県の皆さまのご意見を取り入れ、プログラムを作成している。詳細は、JART会誌・ホームページでご案内していくので、多くの診療放射線技師の皆さまのご参加をお願いしたい。

（放射線機器管理士分科会 中村泰彦）

2019年度 放射線管理地域研修会 開催される

2020年1月13日（月・祝）、本会事務所講義室で放射線管理地域研修会を開催した。当日は医療放射線安全管理責任者講習会の開催と重なったため、参加者が少なくなるかと懸念したが、37人の出席があった。参加者の中には、前日の医療放射線安全管理責任者講習会を受講し、翌日の本講習会も受講したという方も数人おられ、放射線管理に関する関心の高さをうかがうことができた。

午前の内容は、佐藤、諸澄両講師から、今回の法令改正に関係する内容も加えた講義を行っていただいた。

午後からは、三樹講師に解決志向アプローチ（SFA）の被ばく相談への応用について、DVDの視聴を交えながらの講義。続いて村井講師から福島第一原子力発電所事故の教訓という内容で話をしていただいた。村井氏は原発事故直後から

ずっと関わっておられ、今なお廃炉には遠く、被災された方々のことについて考えさせられた。私自身、発災後から毎年のように福島を訪れ、復興の様子を見てきたり、時にはよろず相談員として避難されている方々の話を聞いたりする機会もあったが、毎年少しずつ変わってきている気がする。原発内は発災当時と違い、一部を除いてはタイベックスも必要なしで作業できるが、いまだに福島県の3%弱の地域が帰宅困難地域になっている。そして講義最後は、緊急被ばく医療の基礎および実践という内容で吉田講師に話をしていただいた。

地域開催はまだ名古屋でしか行っていないが、希望があれば日程や内容などを相談して地域開催していく。また今後、講師の入れ替えなども踏まえ会員に新しい情報を提供していきたい。

（放射線管理士分科会 南保 修）

2019年度 第3回 医療被ばく低減施設認定 取得セミナー 開催される

2019年12月15日(日)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターで第3回医療被ばく低減施設認定取得セミナーが開催され、27人のご参加を頂いた。

講義では、2020年4月に施行される医療法施行規則の一部改正と当認定の取得準備作業が重複している部分に関して解説が行われた。特に、必須項目であるガイドラインおよびDRLとの比較検討や組織臓器線量評価は、正当化の判断材料および最適化作業として重要であることが示されていた。本セミナーは、経験豊富な当該認定のチーフサーベイヤーまたはサーベイヤーが中心となって講師を担っているため、質疑応答では、撮影条件の記録に関することや改正法に合わせた対応策など、実務に沿った具体的な内容での質疑応答が行われていた。

沖縄県という地理的問題で開催に苦慮したが、参加者からは「ぜひ参加したかったセミナーであり、沖縄県で開催して



くれたことに感謝する」とのご意見も頂戴し、地方開催の意義を再確認できたセミナーであった。

最後に、開催にご尽力いただいた沖縄県放射線技師会の長野会長をはじめ、安座間副会長ならびに役員の方々に感謝致します。

(医療被ばく安全管理委員会 鈴木賢昭)

2019年度 第2回 認定資格試験 実施される

2020年1月26日(日)、2019年度第2回の各種認定資格試験が、全国2会場で同時に実施された。東日本は首都大学東京荒川キャンパス、西日本はAP大阪梅田茶屋町を会場とした。

現在、本会では5つの資格について認定を行っている。これら認定資格は、それぞれの専門知識や技能に必要な教育を受け、本会が実施する認定試験に合格し、その能力が認められた者に与えられる資格である。2020年4月1日に施行される医療法施行規則で、医療放射線の安全管理において重要な役割が求められる。これら認定資格は、医療技術の進歩に

伴い最新の知識や技能を身に付ける必要があるため、5年ごとの更新制度を採用している。

今回の受験者数は両会場合わせて次の通りであった。

第17回医療画像情報精度管理士認定試験67人、第38回放射線管理士認定試験215人、第40回放射線機器管理士認定試験168人、第27回臨床実習指導教員認定試験79人、第11回放射線被ばく相談員認定試験27人。

2020年度の第1回は8月30日(日)に実施を予定しているが、東日本会場はオリンピックの影響も考慮して会場を決定する予定である。

65歳以上の方の会費が8,000円になります!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円となります。次年度の会費請求から実施することになりましたので、お知らせ致します。

これに伴い、会費の終身免除(会費等納入規程第8条)は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

INFORMATION

医療放射線安全管理責任者講習会 開催される

2019年3月11日に医療法施行規則の一部を改正する省令（平成31年厚生労働省令第21号）が公布され、診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が2020年4月1日に施行される。このことから、エックス線装置などを備える全ての病院・診療所は「医療放射線安全管理責任者」を配置すること、医療放射線の安全管理のための指針を策定すること、医療放射線に係る安全管理のための職員研修の実施、さらに保有する装置により、医療被ばくの線量管理・線量記録が求められる。

「医療放射線安全管理責任者」は、条件付きながら診療放射線技師も対象とされた。本会では「医療放射線安全管理責任者」を育成し、多くの診療放射線技師にその役割を担ってほしいことから、「診療用放射線の安全利用のための指針(案)」をホームページ上に公開するとともに、医療放射線安全管理責任者講習会を本年度に6回開催した。厚生労働省の後援を頂き、受講者には本会中澤会長と厚生労働省医政局長の連名で修了証書を交付している。講義科目は次の通りである。

分	科目
1	45 医療法改正の経緯と概要・日本診療放射線技師会の取り組み
2	45 医療法施行規則および関連通知
3	45 診療用放射線の安全利用のための指針の作成
4	45 正当化とリスク、放射線障害への対応
5	45 被ばく線量の最適化とDRL
6	45 線量の記録
7	45 患者への説明
8	45 医療被ばく低減認定施設

なお、来年度から「医療放射線の安全管理における放射線機器管理士の役割（仮）」の科目を追加する。本年度の講習会における受講者は次の通りで、800人が受講を修了した。

回数	開催日	会場	募集人数	受講者数
第1回	2019年10月13日(日)	WTCコンファレンスセンター Room A	120	52
第2回	2019年10月14日(月・祝)		120	113
第3回	2020年1月12日(日)	日本橋ライフサイエンスビルディング	150	150
第4回	2020年1月13日(月・祝)		150	146
第5回	2020年2月1日(土)	日経カンファレンスルーム	180	171
第6回	2020年2月2日(日)		180	168
計			900	800

第1回は、台風19号の影響により欠席者が多く出た。

来年度は、次の通り東京以外に4県での開催を計画している。ぜひ、多くの診療放射線技師に受講していただきたい。

回数	開催日	会場	募集人数
第1回	2020年5月	東京都	300
第2回	2020年5月		300
第3回	2020年7月		300
第4回	2020年7月		300
第5回	2020年9月	愛知県	300
第6回	未定	福岡県	200以上
第7回	未定	兵庫県	200以上
第8回	2021年2月	宮城県	200以上
計			2,100以上

2020年2月7日現在の予定

診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「救急医療学」実習 開催される(愛媛県)

2020年1月19日(日)、愛媛県松山赤十字病院で標記セミナーが開催された。日本救急医学会ICLS認定インストラクターの資格を有する講師を愛媛県外から招聘したことに加えて、中四国での講師育成のために愛媛県からも3人の資格保持者を指導者として招き、参加していただいた。

内容は、救急医療体制の問題点を座学で行い、胸骨圧迫・気道確保/換気・AEDについては実習を行った。ほとんどの受講生が業務拡大に伴う統一講習会を受講済みであり、それなりのスキルを持ち合わせてはいたが、脈の触知、BVMの使い方など、統一講習会で触れられないことを学び、本講習会がスキルアップの意味でも有意義であると思われた。

受講者アンケートでは、「一時救命措置が理解できた」「落ち着いて対処できそう」などの意見があった。今後、現場で生かそうとする意欲が感じられ、受講生の満足度が感じられた。講師の評価も高く、ユーモアを交えながらリラックスした雰囲気の中で学ぶことができ、よく身に付いたのではないかと

思う。

未受講者にお勧めできる講習会であると思う。



診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「看護学」実習 開催される(愛知県)

2020年1月19日(日)、名古屋掖済会病院の講堂で医療基礎コース「看護学」実習が開催され、一昨年より3年続けての名古屋掖済会病院での開催となった。愛知県では、2015年度より5年連続の開催となる。残念ながら、今回は定員30人に対し19人の受講希望であったが、県外からの参加者もおり午前9時からの実習に臨んだ。

初めに、公益社団法人愛知県診療放射線技師会副会長よりあいさつがあり、その後、講師の先生方の自己紹介があり、実習がスタートした。講師は、名古屋掖済会病院看護部 水谷副看護部長、佐藤看護部長、横井看護部長、小山田看護部長、櫻井主任看護師で、いずれも看護の分野で認定看護師の資格を有する優秀な5人の講師陣である。実習は19人を4つのグループに分け、自己紹介を兼ねたアイスブレイクによりグループ内でのコミュニケーションが図られた。午前は、動画を視聴しながらの接遇・コミュニケーション(ビジネスマナー、お辞儀や発音・滑舌の実践、敬語の実力チェック、医療現場での言葉遣いなど)の講義と実習が行われた。午後は、患者移送・移動の技術について、車いす・ストレッチャーを使用して、講師の指導の下、グループ内での議論も交わしながら楽しく身に付く実習が行われた。また感染予防策の実

習では、有効な手洗いの方法と個人防護具の着脱について学んだ。その後、受講した皆さまに今回の修了書が渡され、実習は終了となった。

最後に、公益社団法人日本診療放射線技師会の事業にご理解いただき、ご支援・ご協力いただきました名古屋掖済会病院看護部に感謝申し上げます。

(公益社団法人愛知県診療放射線技師会 鈴木正広)



2019年度 第2回 JART-JSRT定期懇談会 開催される

2020年2月5日(水)午後4時より、本会事務所で本年度第2回の日本放射線技術学会(JSRT)との定期懇談会が開催された。この懇談会は年に2回、JARTとJSRTが事業連携についての協議や情報共有のために開催している。

本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、中村理事、上島事務局長、木村専門職の6人が、JSRTからは白石順二代表理事、奥田保男副代表理事、根岸徹副代表理事、梁川範幸業務執行理事(学術)、坂本博業務執行理事(企画)、岩永秀幸業務執行理事(広報・渉外)、宮高睦事務局長、中藺誠善事務局次長の8人が出席した。

本会から、第35回日本診療放射線技師学術大会について、眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会について、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会に



ついて、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会について、医療放射線安全管理責任者講習会の実施について、医療機器の保守点検指針に関する研究について報告した。

JSRTからは、第47回日本放射線技術学会秋季学術大会について、今後の学術大会について、総会における英語発表についての報告があった。

また2020年のJART-JSRT合同市民公開講座については、本会からテーマを乳がんとして、8月22日(土)に熊本県熊本市で開催することを提案した。JSRTからは、2017年JSRT-JART将来構想会議答申の実現化に向けて、東南アジア向け放射線技術学関連テキストブック(英語版)の製作と配布について提案があった。

今回は、2020年8月ごろJSRT事務局で開催予定である。



2019年度 第2回 JART-JIRA懇談会 開催される

2020年1月30日(木)午後4時より、本年度第2回の一般社団法人日本画像医療システム工業会(JIRA)との定期懇談会が、JIRA第4会議室で行われた。

本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、上島事務局長の6人が、JIRAからは新延晶雄会長、稲葉潔業務執行理事、浜原公幸法規・安全部会長、鍵谷昭典経済部会長、小田雄二放射線・線量委員長、渡辺良事務局長、横田則昭総務部長の7人が出席した。

初めに、JIRAの新延会長からJIRA新年会出席のお礼と4月に開催されるITEMへの参加依頼、診療報酬の改定に対応していきたいことが述べられた。その後、各担当者から最近のJIRAの活動状況、経済部会報告、法規・安全部会報告について述べられた。

次に、本会から提議した医療放射線の安全管理体制について、中澤会長からJIRAへ安価な線量管理システムの開発を

要望した。JIRA側からは、開業医向けの簡易的な線量管理システムについて検討することが述べられた。続いて本会からの報告について佐野副会長から、第35回日本診療放射線技師学術大会への協力に対するお礼と、第36回日本診療放射線技師学術大会への協力依頼がなされた。また小田理事から目の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会の報告がなされた。熊代副会長からは、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会について、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会について報告がなされた。

また4月に改定される診療報酬内容について情報交換が活発に行われ、とても有意義な懇談会となった。

本懇談会については、今後も引き続き情報交換を行いながら進めていきたいとの要望もあり、本会も協働していきたいことが述べられた。

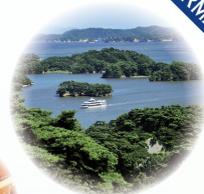
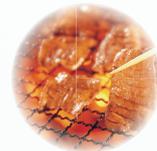
INFORMATION



第6回 第36回日本診療放射線技師学術大会

宮城への道

宮城県放射線技師会 広報部



仙台の聖地巡礼！

仙台には、意外といろいろな映画・ドラマ・アニメ・マンガなどの舞台やロケ地があります。仙台になじみ深い映画監督や作家のゆかりの場所が市内だけでも数力あるので、ぜひ巡礼してみたいはかがでしょうか？

仙台を代表する作家といえば「伊坂幸太郎」。作品の映画化は数々あり、仙台市がロケ地となっているものも多数あります。昨年公開された映画「アイネクライネナハトムジーク」は、仙台を舞台としています。スクリーンには仙台駅前ペDESTリアンデッキ・錦町公園・壱式参横丁など、仙台市民おなじみの場所が登場します。また撮影で使われたホテルのレストランのテーブル席は、仙台の夜景を一望できます。少しお高いですが、予約をして訪ねてみたいはかがでしょうか。他にも「ゴールデンズランバー」「重力ピエロ」「アヒルと鴨のコインロッカー」など、仙台ではおなじみの場所で撮影されていますので、事前に作品を鑑賞してから訪れていただければ、より仙台を楽しめると思います。また壱式参横丁は映画・ドラマなどのロケで使われることが多く、おしゃれで小さな飲み屋さんもたくさんありますので、要チェックです。こちらに仙台のロケ地MAPがあります。ぜひどうぞ。

仙台・宮城ロケ地MAP https://www.sendaimiyagi-fc.jp/pdf/golden-slumber_map.pdf

宮城の漫画家といえば、「仮面ライダー」の石ノ森章太郎ですが、仙台の街を舞台にした(?)「ジョジョの奇妙な冒険」の荒木飛呂彦もいます。数年前には、杜の都仙台「ジョジョ」展があり、街中に「ジョジョ」の画が飾られていました。また仙台を舞台とした漫画といえば、ジャズプレイヤーを目指す高校生の物語「BLUE GIANT」(石塚真一)。作中には実際の場所やお店がたびたび出てきます。仙台国際センターの近くにある「定進堂」は、何と！ 作中に出てくるパン屋さん。こちらの「ハムカツぱん」は絶品です。何はともあれ、ご賞味ください。



* 今月の一杯：今月は「宮寒梅 (みやかんばい)」です。宮城県産の美山錦で醸した新酒です。みずみずしく香りたつ、搾りたての極上生酒です。濃密な果実を思わせるおりがらみ新酒で、おりのうま味がぜいたくなお酒です。ぜひ、ご賞味を！



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

日本診療放射線技師学術大会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期
Date

2020年
10月23日(金)▶25日(日)

会場
Venue

仙台国際センター

会長
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

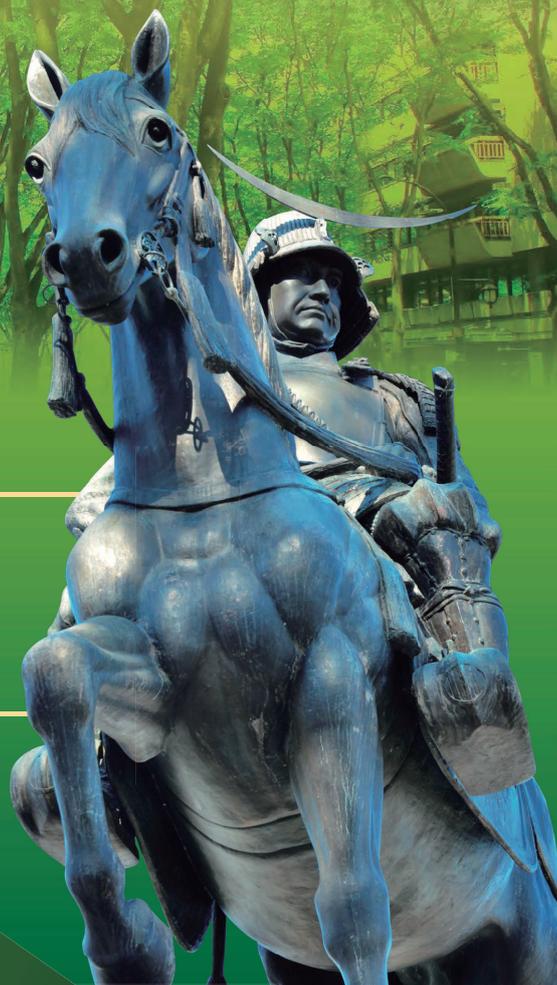
公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)
宮城県 (予定)
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL : 022 (388) 3777 FAX : 022 (388) 3778

ONE TEAM



昨年を象徴する言葉「ONE TEAM」。ラグビーワールドカップで日本代表を支えた言葉です。外国出身のさまざまな言語や文化が異なる選手たちが、まさに「一つ」になってつかんだ初のベスト8に日本中が大興奮しました。

つい、先日（1月29日）のことですが、令和2年度診療報酬改定のための会議（中央社会保険医療協議会 第448回総会）において、「超音波検査の所見等を報告書又は診療録へ記載した場合に算定できる」ということが新設されました。しかし、算定するに当たっては「医師若しくは臨床検査技師が、報告書を作成し、その報告書及び画像を診療録に添付すること。（一部割愛）」と記載され、診療放射線技師の名が記載されていません。この算定要件が決まってしまうと、診療放射線技師が超音波検査を施行し報告書を作成している病院は算定できなくなります。医師が臨床検査技師のみが超音波検査に従事することになり、ひいては診療放射線技師の業務縮小にもなりかねません。即日、中澤会長が厚生労働省医療課に連絡を取り、医療課から修正案の提案を求められ提出されました。また私も超音波検査を専門にしていることから、超音波検査を行っている全

国の診療放射線技師に連絡し、おのおのが関連部署に異議申し立てをしました。さらに中央社会保険医療協議会に出席している北村前会長が会議で発言されるなどの結果、修正されることが決定しました。まさにこの何日かの間に診療放射線技師が心をつ一つにして厚生労働省に対し修正を求めました。「ONE TEAM」を実感した瞬間です。この原稿が皆さんの目に触れる頃には、正式に令和2年度診療報酬改定が発表されていると思います。

これからも診療報酬の保険点数だけでなく、施設要件などに診療放射線技師の名前を載せるなど、皆さんからの要望を反映させるべく努力していきます。

そのために令和2年度診療報酬改定の影響調査、引き続き令和4年度診療報酬改定要望のための調査アンケートを実施します。ご多忙中、お手間を取らせ申し訳なく思っておりますが、アンケート結果が診療報酬改定の要望を裏付ける大事なエビデンスになります。まずは「ONE TEAM」になって千件以上（厚生労働省からは千件以上でエビデンスになるといわれています）の回答をお願い致します。（文責：藤井雅代）

第36回日本診療放射線技師学術大会 宿泊予約について

INFORMATION

第36回日本診療放射線技師学術大会期間中は、宮城県内で開催されるイベントのため、宿泊施設の確保が困難になることが予想されます。

2020年3月1日より**第36回日本診療放射線技師学術大会ホームページ**で宿泊案内を開始します。早めの宿泊施設の確保をお願い致します。

本会への入会手続きについて（お知らせ）

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ（<http://www.jart.jp>）から“新規入会はこちら”をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-5405-3612 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。